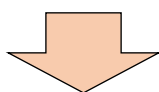


P113

修正前

| 事業番号/事業名 | 年度 | 実績値 | | | 目標値(目標指標・方向性) | | |
|--|----|---|------|--------|-----------------------------------|------|------|
| | | R3 | R4 | R5(見込) | R6 | R7 | R8 |
| ⑤生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーターを配置し、介護予防に資する事業や、地域住民が主体となる共助の組織づくり、地域資源の洗い出しなど、誰もが暮らしやすい地域づくりに資するための取組を推進する。 | | 団体立ち上げ数 | | | | | |
| | | — | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 |
| | | モデル地区における取組の検証及び好事例について他地区へ展開。R4より事業実施。 | | | 事業継続をしつつ、新規組織の立ち上げに向けて伴走支援等に取り組む。 | | |



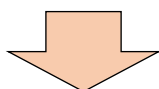
修正後

| 事業番号/事業名 | 年度 | 実績値 | | | 目標値(目標指標・方向性) | | |
|--|----|---|-----------|-----------|-----------------------------------|-----------|-----------|
| | | R3 | R4 | R5(見込) | R6 | R7 | R8 |
| ⑤生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーターを配置し、介護予防に資する事業や、地域住民が主体となる共助の組織づくり、地域資源の洗い出しなど、誰もが暮らしやすい地域づくりに資するための取組を推進する。 | | 団体立ち上げ数 | | | | | |
| | | — | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 |
| | | <u>生活支援コーディネーター</u> | | | | | |
| | | <u>2人</u> | <u>2人</u> | <u>2人</u> | <u>2人</u> | <u>3人</u> | <u>4人</u> |
| | | モデル地区における取組の検証及び好事例について他地区へ展開。R4より事業実施。 | | | 事業継続をしつつ、新規組織の立ち上げに向けて伴走支援等に取り組む。 | | |

P117

修正前

| 事業名：生活支援体制整備事業 | | | 基本目標 3 | 基本施策(2) | 事業番号⑤ | |
|---|----------|----------|----------|---------------|----------|----------|
| 事業内容 | | | | | | |
| 生活支援コーディネーターを配置し、介護予防に資する事業や地域住民が主体となる共助の組織づくり、地域資源の洗い出しなど、誰もが暮らしやすい地域づくりに資するための取組を推進する。 | | | | | | |
| 現状の課題と今後の方向性 | | | | | | |
| 多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図るため、市内に生活支援コーディネーターを配置し、コーディネート機能として、資源開発（地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成、高齢者等が担い手として活動する場の確保等）、ネットワーク構築（関係者間の情報共有、サービス提供主体間の連携の体制づくり等）、ニーズと取組のマッチング（地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング等）を実施するとともに、地域における一体的な生活支援等サービスを提供するボランティア団体の立ち上げ支援などの体制の整備を更に推進する。 | | | | | | |
| 区 分 | 実績 | | 見込 | 目標値（目標指標・方向性） | | |
| | R3(2021) | R4(2022) | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| 団体立ち上げ数 | | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 |



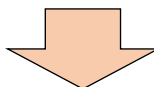
修正後

| 事業名：生活支援体制整備事業 | | | 基本目標 3 | 基本施策(2) | 事業番号⑤ | |
|---|-----------|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|
| 事業内容 | | | | | | |
| 生活支援コーディネーターを配置し、介護予防に資する事業や地域住民が主体となる共助の組織づくり、地域資源の洗い出しなど、誰もが暮らしやすい地域づくりに資するための取組を推進する。 | | | | | | |
| 現状の課題と今後の方向性 | | | | | | |
| 多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図るため、市内に生活支援コーディネーターを配置し、コーディネート機能として、資源開発（地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成、高齢者等が担い手として活動する場の確保等）、ネットワーク構築（関係者間の情報共有、サービス提供主体間の連携の体制づくり等）、ニーズと取組のマッチング（地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング等）を実施するとともに、地域における一体的な生活支援等サービスを提供するボランティア団体の立ち上げ支援などの体制の整備を更に推進する。 | | | | | | |
| 区 分 | 実績 | | 見込 | 目標値（目標指標・方向性） | | |
| | R3(2021) | R4(2022) | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| 団体立ち上げ数 | | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 | 1 団体 |
| <u>生活支援コーディネーター</u> | <u>2人</u> | <u>2人</u> | <u>2人</u> | <u>2人</u> | <u>3人</u> | <u>4人</u> |

P117

修正前

| 事業名：相談窓口の利用促進 | | | 基本目標 3 | 基本施策(2) | 事業番号⑥ | |
|---|---|----------|----------|----------------------------------|----------|----------|
| 事業内容 | | | | | | |
| 地域において、高齢者が気軽に相談できる窓口として、地域包括支援センターや認知症初期相談窓口など充実しているが、より市民の方に認知及び利用してもらうための取組を行う。 | | | | | | |
| 現状の課題と今後の方向性 | | | | | | |
| 第8期事業計画にて相談窓口の充実が重点課題として挙げられた。課題と取組内容について地域ケア推進会議にて精査・評価を行ったところ、高齢者の相談窓口としての機能は既に充実しているとされた。しかし、ニーズ調査等による相談窓口の認知度は40%を下回るなど、周知の面において課題が挙げられた。今後は関係機関も含め相談窓口の普及・啓発を徹底するとともに、高齢者ガイドブックの作成等により社会資源の見える化を進めていく。 | | | | | | |
| 区分 | 実績 | | 見込 | 目標値（目標指標・方向性） | | |
| | R3(2021) | R4(2022) | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| 認知度向上の取組 | 地域包括支援センターや認知症初期相談窓口の普及・啓発を実施 | | | 引き続き、相談窓口の利用促進に繋げるため、周知啓発に努めていく。 | | |
| 社会資源の見える化 | P.111 基本目標2「ひとり暮らし高齢者や介護を行う家族を支援する」 (1) 地域情報の収集・発信に掲載の事業の中で実施。 | | | | | |



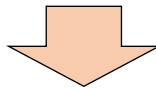
修正後

| 事業名：相談窓口の利用促進 | | | 基本目標 3 | 基本施策(2) | 事業番号⑥ | |
|--|---|----------|----------|----------------------------------|----------|----------|
| 事業内容 | | | | | | |
| 地域において、高齢者が気軽に相談できる窓口として、地域包括支援センターや認知症初期相談窓口など充実しているが、より市民の方に認知及び利用してもらうための取組を行う。 | | | | | | |
| 現状の課題と今後の方向性 | | | | | | |
| 第8期事業計画にて相談窓口の充実が重点課題として挙げられた。課題と取組内容について地域ケア推進会議にて精査・評価を行ったところ、高齢者の相談窓口としての機能は既に充実しているとされた。しかし、ニーズ調査等による相談窓口の認知度は40%を下回るなど、周知の面において課題が挙げられた。今後は関係機関も含め相談窓口の普及・啓発を徹底するとともに、高齢者ガイドブックの作成等により社会資源の見える化を進めていく。 <u>引き続き、多様化する高齢者のニーズに応じた相談窓口となるよう、地域におけるニーズを把握していく中で、検討を進めていく。</u> | | | | | | |
| 区分 | 実績 | | 見込 | 目標値（目標指標・方向性） | | |
| | R3(2021) | R4(2022) | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| 認知度向上の取組 | 地域包括支援センターや認知症初期相談窓口の普及・啓発を実施 | | | 引き続き、相談窓口の利用促進に繋げるため、周知啓発に努めていく。 | | |
| 社会資源の見える化 | P.111 基本目標2「ひとり暮らし高齢者や介護を行う家族を支援する」 (1) 地域情報の収集・発信に掲載の事業の中で実施。 | | | | | |

P122

修正前

| 項目 | 年度 | 実績値 | | | 目標値(目標指標・方向性) | | |
|---|----|----------------|----|--------|---|----|----|
| | | R3 | R4 | R5(見込) | R6 | R7 | R8 |
| ③財源確保に向けた取組 国及び東京都からの補助金等については、最大限の活用を目指し、実施事業検討の際には、補助要件等を精査のうえ事業設計し、確実な財源の確保に努める。 | | 保険者機能強化推進交付金 | | | 引き続き、財源確保に向けて国及び東京都に要請を行っていくとともに、財源の確保に努める。 | | |
| | | 交付 | 交付 | 交付 | | | |
| | | 介護保険保険者努力支援交付金 | | | | | |
| | | 交付 | 交付 | 交付 | | | |



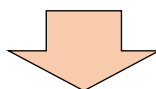
修正後

| 項目 | 年度 | 実績値 | | | 目標値(目標指標・方向性) | | |
|---|----|---------------------------|--------------|--------------|---|----|----|
| | | R3 | R4 | R5(見込) | R6 | R7 | R8 |
| ③財源確保に向けた取組 国及び東京都からの補助金等については、最大限の活用を目指し、実施事業検討の際には、補助要件等を精査のうえ事業設計し、確実な財源の確保に努める。 | | 保険者機能強化推進交付金 交付額 | | | 引き続き、財源確保に向けて国及び東京都に要請を行っていくとともに、財源の確保に努める。 | | |
| | | 17,503 千円 | 16,548 千円 | 12,123 千円 | | | |
| | | 介護保険保険者努力支援交付金 交付額 | | | | | |
| | | 19,108 千円 | 19,592 千円 | 15,807 千円 | | | |

P125

修正前

| 事業名：財源確保に向けた取組 | | | 基本目標4 | 基本施策(4) | 事業番号③ | |
|--|----------|----------|----------|---|----------|----------|
| 事業内容 | | | | | | |
| 国及び東京都からの補助金等については、最大限の活用を目指し、実施事業検討の際には、補助要件等を精査のうえ事業設計し、確実な財源の確保に努める。 | | | | | | |
| 現状の課題と今後の方向性 | | | | | | |
| 地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び介護給付等に擁する経費の適正化に関する市町村による取組を支援することを目的として、平成30(2018)年度からは保険者機能強化推進交付金、令和2(2020)年度からは介護保険保険者努力支援交付金が交付されている。交付対象となる事業については、交付要件等の確実な検証を行い、最大限の交付を受けられるよう努めていく。 | | | | | | |
| 区分 | 実績 | | 見込 | 目標値(目標指標・方向性) | | |
| | R3(2021) | R4(2022) | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| 保険者機能強化推進交付金 | 交付 | 交付 | 交付 | 引き続き、財源確保に向けて国及び東京都に要請していくとともに、財源の確保に努めていく。 | | |
| 介護保険保険者努力支援交付金 | 交付 | 交付 | 交付 | | | |



修正後

| 事業名：財源確保に向けた取組 | | | 基本目標4 | 基本施策(4) | 事業番号③ | |
|--|--------------|--------------|--------------|---|----------|----------|
| 事業内容 | | | | | | |
| 国及び東京都からの補助金等については、最大限の活用を目指し、実施事業検討の際には、補助要件等を精査のうえ事業設計し、確実な財源の確保に努める。 | | | | | | |
| 現状の課題と今後の方向性 | | | | | | |
| 地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び介護給付等に擁する経費の適正化に関する市町村による取組を支援することを目的として、平成30(2018)年度からは保険者機能強化推進交付金、令和2(2020)年度からは介護保険保険者努力支援交付金が交付されている。交付対象となる事業については、交付要件等の確実な検証を行い、最大限の交付を受けられるよう努めていく。 | | | | | | |
| 区分 | 実績 | | 見込 | 目標値(目標指標・方向性) | | |
| | R3(2021) | R4(2022) | R5(2023) | R6(2024) | R7(2025) | R8(2026) |
| 保険者機能強化推進交付金交付額 | 17,503 千円 | 16,548 千円 | 12,123 千円 | 引き続き、財源確保に向けて国及び東京都に要請していくとともに、財源の確保に努めていく。 | | |
| 介護保険保険者努力支援交付金交付額 | 19,108 千円 | 19,592 千円 | 15,807 千円 | | | |